

# 処分場の安全性について

- 明野処分場については、安全性に対する地元の皆様のご意見や北杜市長、北杜市議会からの要望を踏まえる中で安心安全な施設とするための配慮をして参りました。
- 処分場整備後の管理運営に当たっては、
  - ・地域住民、専門家、北杜市、県からなる「安全管理委員会」を設置し、各種測定結果や埋立廃棄物の種類・量など各種データの公表、地元の方々による立入検査を実施
  - ・北杜市、県、環境整備事業団の3者で環境保全協定を締結するなど、万全の安全対策を講じていくこととしています。

## 全国トップレベルの安全施設

他県の類似16施設（公共関与で稼働中又は建設中）を調査したところ、次のような結果となっています。

### ①受け入れ廃棄物の安全性

- ・本県では、焼却灰は溶融固化したものに限り、ばいじんは受け入れないという安全性への特段の配慮をしている。
- ・他県では、焼却灰は全16施設、ばいじんは埼玉県を除く15施設で受け入れている。

### ②遮水構造の安全性

- ・本県では、3重の遮水構造、漏水検知システム、12地点での水質調査を実施することとしている。
- ・他県では、茨城県の1施設のみが本県と同等であるが、他の15施設は本県のレベルを下回る。

### ③放流水の排水基準

- ・本県では、ほぼ全ての項目が国の基準の1/10程度と厳しい基準を設定している。
- ・他県では、埼玉県の1施設が本県と同等である。また、京都府などで部分的に本県の基準を上回る項目もあるが、総合的には本県の基準が最も厳しい。

### 公共関与による管理型廃棄物最終処分場の状況

施設名	処分場の規模		受入品目			遮水構造			水質調査地点数	排水基準
	埋立期間	埋立容量(千m <sup>3</sup> )	焼却灰	ばいじん	溶融スラゲ	底面	法面	漏水検知システム		
山梨 明野処分場	5.5年	408	×	×	○	3重	3重	○	12	国の基準の1/10以下
岩手 いわてクリーンセンター(第1期)	20年	1,154	○	○	○	1重	1重	×	3	国の基準とほぼ同等
岩手 いわてクリーンセンター(第2期)	15年	727	○	○	○	2重	2重	○	3	
宮城 小鶴沢処分場(第1埋立地)	27年	4,420	○	○	○	1重	1重	×	5	下水道へ放流
宮城 小鶴沢処分場(第3埋立地)	12年	2,569	○	○	○	2重	2重	×	5	
秋田 秋田県環境保全センター(C)	10年	1,318	○	○	○	1重	1重	×	3	国の基準とほぼ同等
秋田 秋田県環境保全センター(D)	8年	1,072	○	○	○	2重	2重	×	3	
茨城 エコフロンティアかさま	10年	2,400	○	○	○	3重	3重	○	16	下水道へ放流
埼玉 埼玉県環境整備センター	26年	1,930	○	×	○	2重	2重	×	6	国の基準の1/10以下
神奈川 芦名地区県営最終処分場	10年	540	○	○	○	3重	3重	×	(未定)	国の基準とほぼ同等
新潟 エコパークいずもぎき	10年	1,484	○	○	○	2重	3重	○	7	国の基準とほぼ同等
三重 小山最終処分場	18年	2,290	○	○	○	2重	1重	×	9	国の基準とほぼ同等
滋賀 クリーンセンター滋賀	15年	1,300	○	○	○	3重	2重	○	3	国の基準とほぼ同等
京都 瑞穂環境保全センター	30年	851	○	○	○	1重	1重	×	5	国の基準とほぼ同等
島根 クリーンパークいずも	15年	472	○	○	○	2重	3重	○	10	国の基準とほぼ同等
佐賀 蒲池処分場	15年	413	○	○	○	2重	2重	○	6	国の基準とほぼ同等
宮崎 宮崎県廃棄物総合処理センター	15年	577	○	○	○	2重	2重	○	4	国の基準とほぼ同等

※   は、明野処分場と同等の安全性